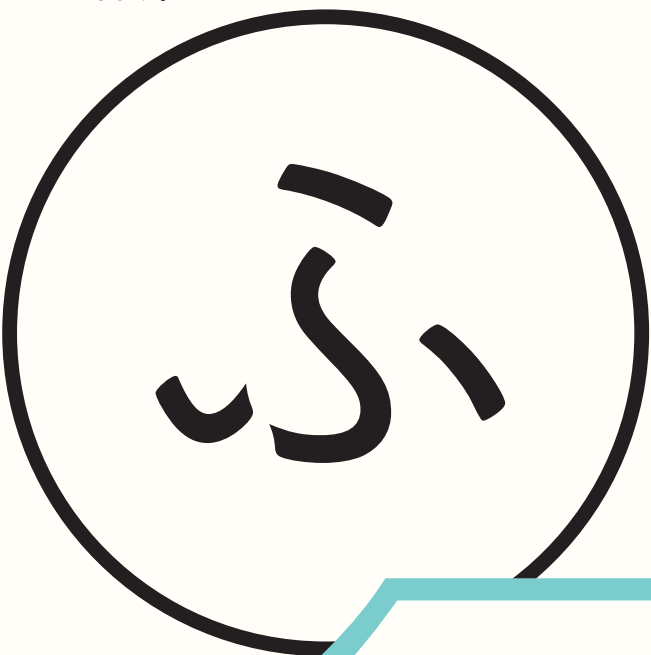


今回のnerimagaはおかげさまで第8号。

西武池袋線「富士見台駅」周辺を特集します。

富士見台と言えば、やはりその名の通り「富士山」ですね。
全国にもたくさん富士見という名前が付く地名がありますが
どの地もほとんどが、かつて富士山が眺められる場所だった
という事が由来となっています。現在では高い建物が増え
だいたい富士山を見られる場所も少なくなりましたが、
天気の良い日には、西武線の車内からもその美しい姿を
眺めることができます。



富士見台



そして、もうひとつ。

富士見台は日本の漫画・アニメのパイオニア
手塚治虫氏が居を構えた地でもあるのです。

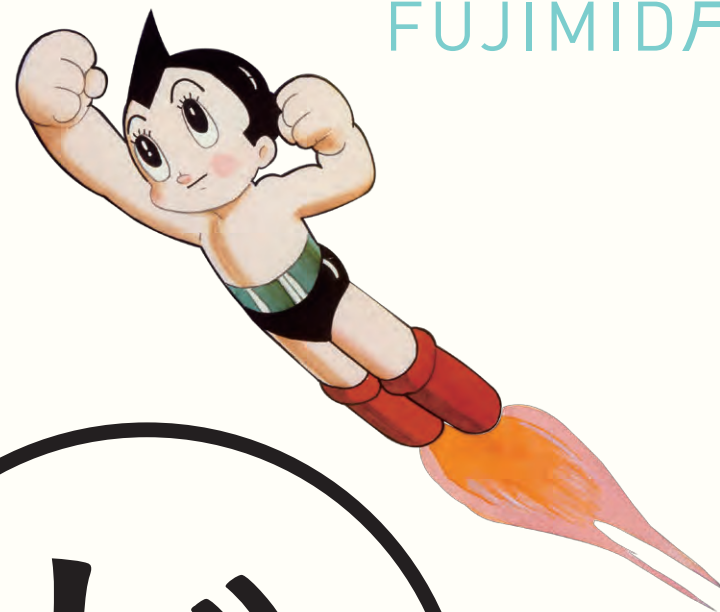
1961年、自宅の敷地内に手塚プロダクション動画部を設立。

現在も同じ場所で虫プロダクションがアニメを制作し続けています。

街を歩けばゆかりの場所にたくさん出会うことができます。

手塚先生の足跡を辿りつつ、新しい富士見台の魅力もご紹介。

ぜひnerimaga片手に富士見台散歩を楽しんでください。



FUJIMIDAI



ジャパンアニメーションの歴史は富士見台から始まった!?

虫プロダクション株式会社



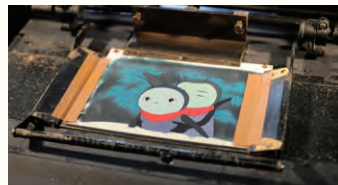
富士見台の住宅街にある手塚治虫氏によって創設され、国産アニメの礎を築いたアニメ制作会社「虫プロダクション」。日本初の30分テレビアニメシリーズ『鉄腕アトム』や『ジャングル大帝』など数多くの名作を世に生み出してきました。現在は子供だけでなく大人も楽しめる長編の親子映画や、大人気アニメ『ONE PIECE』の制作もお手伝いしています。



アニメの骨となる「原画」と、それを少しずつ動かし連続した絵にする「動画」を制作。



あがってきた動画に色をつけていく工程。現在はすべてPCによるデジタル彩色。



かつてはこうにしてセル画を1枚1枚撮影。命を吹き込む作業とも言われていた。



エリアル合成機。セル画と実写を合成するための特殊な機械。CGの先駆けのようなもの。



セル撮影機の操作スイッチ。これでカメラの位置を上げ下げを調整。まるでSFのマシンのよう。

虫プロダクション制作のアニメ作品介绍



©大島弓子・白泉社／虫プロダクション

「綿の国星」

ある日、寒さに震えていた一匹の小さな捨て猫が、心優しい青年、時夫に拾われる。子猫はチビと名付けられ、その日から須和野家の一員になる。時夫の事が大好きになったチビ猫は、いつか自分も人間になって、時夫の恋人になれると信じて疑わないのでした。



©高森朝雄・ちばてつや／虫プロダクション

「あしたのジョー」

ある日、流れ着いた東京のドヤ街で、丹下段平と運命的な出会いをするジョー。。段平の執念がご拳闘の指導や、宿敵・力石徹との闘いの中で、徐々にボクサーとしての才能を開花させるのであった。



北崎さんの愛用道具



・MONO消しゴム(トンガ鉛筆)

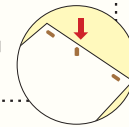
1969年の発売以来、変わらず愛されてきた青白黒のストライプデザインが特徴のよく消える消しゴム。

・ユニスター 6角 B(三菱鉛筆株式会社)

鉛筆芯の材料である黒鉛と粘土が微粒で均一であるため、より黒く、きれいに書くことができる。

・タップ(三起社)

作画用紙を固定する道具。作画用紙は上に穴があり、タップにきちんと装着できる。



虫プロダクション・アニメーター

北崎正浩さん

主な作画作品:「湾岸ミッドナイト」「パトレイバー」

「はじめの一歩TVシリーズ」「ONE PIECE」など

Q.虫プロダクションに入ったきっかけは何ですか?

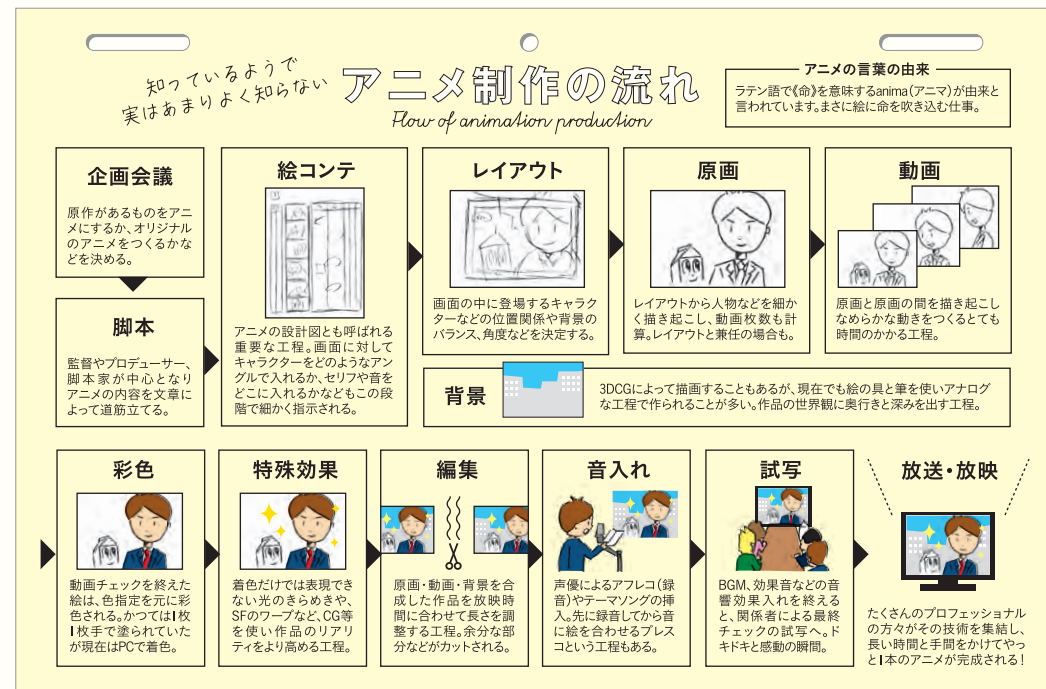
大阪のアニメーション専門学校を卒業して東京に出てきました。虫プロの前には別のアニメプロダクションで働いていたんですが、その時に、「ワンダービートS-スクランブル」というTVアニメシリーズの制作をするので虫プロに入ってくれないかと誘いがあり、2~3人で一緒に1985年に虫プロに入りました。

Q.アニメ制作の醍醐味は何ですか?

やっぱり自分が描いた絵が動く瞬間はいつ見てもワクワクしますね。人がたくさん動くコマはなかなか大変ですが…。人が1人でもたくさんでも1枚は1枚ですから(笑)。あとは自分でキャラクターデザインなども手がけることがある作品もあるのでそれも楽しいですね。

Q.これからアニメ業界に入る若者にメッセージをお願いします

アニメの制作は、自分の名刺を作品に残すような仕事。良い作品を作ればそれが自分の評価につながります。自分の努力次第でどんどん成長できる世界です。技術的なことも大事ですが、同時に描きたい想いを常に持っていただくことが1番だと思います。



ビーフギャラリーエチゴヤ CURRY SHOP

かつて手塚治虫先生が仕事場として
借りていたことでも有名な越後屋ビル。
その1階にあるビーフギャラリーエチゴヤ カレーショップ。
お肉のプロフェッショナルが作っているので
言わずもがな、お肉の美味しさは抜群！
一口食べるとじっくり煮込まれほろほろになった
お肉の旨味と、絶妙にブレンドされたスパイスが
織りなす深みのある風味が口いっぱいに広がり、
幸せを感じずにはいられない美味しさです。



ほろほろのお肉がたまらない
老舗お肉屋さんがつくるスペシャルビーフカレー



シャッターには
手塚先生から
寄贈された絵柄が
描かれています

藤乃木製パン



昔ながらの懐かしい味を守り続ける
富士見台で長年愛される地元のパン屋さん



店内には照りが綺麗な見るからに美味しそうな
パンがずらり。パンの製法は昭和43年創業当時のものを
今も守り続けています。人気のパンは、おかずパン、
メロンパン、あんパン、クリームパンなど。
食パンも大人気ですぐに売り切れてしまうのだそう。
近所であれば迷わず毎日通いたい素敵なパン屋さんです。

